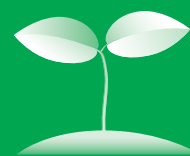


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



自分の道を拓く

九月末、富地区の合同運動会が小学校を会場にして行われました。

この運動会では毎年卒業生も多数顔を出してくれます。地区対抗の選手としてリレー競技に出る者もいます。中学校のダンスに加わる者もいます。今年もそうやって、中学校のときのことを懐かしんで来てくれたことがとてもありがたく、子どもたちと地域の人々との結びつきの強さを感じました。

この運動会で、係の仕事をしていたとき、一人の卒業生がやってきて近況報告をしてくれました。「先生、来春受ける大学を決めた。」と学科や志望した理由まで教えてくれたのです。この前中学校を卒業したばかりと思っていたのに早いものだあと感じました。そして、この卒業生が自分の決めた進路をまわりの人に意思表示できるというところが頼もしくもありました。中学校・高校と、自分の目標を探し、その目標に向かって努力してきた自信を感じることができたからです。

中学校の進路指導は今、キャリア教育と呼ばれ、学力や能力に応じて進学や就職先を決めてその希望を実現させ

るというだけでなく、社会人・職業人として生きていくために必要な能力や態度を身につけることを重視し、子どもの「生きる力」を育てることを目的としています。社会人として必要なコミュニケーションやマナーなど必要な資質として身につけてほしい。職場体験もそんなねらいから行われています。

社会的に難しい時代だからこそ、自分の道を自分で切り開く力をつけることが大切です。一人ひとりが目標をもって学校生活を送り努力を積み重ねられるよう、しっかりとサポートしていかねればと感じたひとコマでした。



鏡野町生徒指導推進連絡協議会
富中学校 石田 浩三

11月11日は

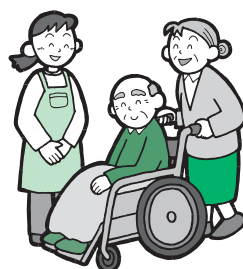
介護の日

介護の日とは

高齢化などにより介護の必要な方々が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。こうした中、多くの方々々に介護を身近なものとしてとらえていただくとともに、それぞれの立場で介護を考え、関わっていただくことが必要となっています。

介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者及びその家族、介護従事者等を支援するとともに、これらの人々を取り巻く地域社会における支えあいや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日として設定されています。

「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた、覚えやすく、親しみやすい語呂あわせになっています。



もの忘れ相談

「介護のお世話がしにくい」「認知症かな」と不安に思っている家族のために「もの忘れ相談」を開設します。

日時 11月22日(火) 午後1時30分～午後4時

場所 鏡野町中央公民館(相談内容によっては、ご自宅に訪問します)

内容 認知症サポート医師による面談と助言

受付 11月11日までに福祉課介護保険係 電話54-2986へ

※相談をお受けできる人数には限りがありますので、ご了承ください。